

【NVIDIA プレスリリース】

2020 年会計年度第 4 四半期の業績を発表

カリフォルニア州サンタクララ (2020 年 2 月 13 日)-- NVIDIA (NASDAQ:NVDA) は、2020 年 1 月 26 日に終了した第 4 四半期の売上高が 31 億 1,000 万ドルとなったことを発表しました。これは、前年同期の 22 億 1,000 万ドルから 41% 増、前四半期の 30 億 1,000 万ドルから 3% 増になります。

米国 GAAP に基づく業績では、第 4 四半期の希薄後 1 株当たりの利益は 1.53 ドルと、前年同期の 0.92 ドルに対して 66% 増、前四半期の 1.45 ドルから 6% 増となりました。非 GAAP に基づく希薄後 1 株当たりの利益は 1.89 ドルと、前年同期の 0.80 ドルから 136% 増、前四半期の 1.78 ドルから 6% 増となりました。

2020 年会計年度は、売上高が 109 億 2,000 万ドルで、前年度の 117 億 2,000 万ドルより 7% 減となりました。米国 GAAP に基づく希薄後 1 株当たりの利益は 4.52 ドルで、前年度の 6.63 ドルから 32% 減少しました。非 GAAP に基づく希薄後 1 株当たりの利益は 5.79 ドルで、前年度の 6.64 ドルから 13% 減少しました。

NVIDIA の創業者/CEO であるジェンスン ファン (Jensen Huang) は、次のように述べています。「NVIDIA のアクセラレーテッド コンピューティングが広く採用されて、すばらしい成果を上げており、データセンター関連の売上が史上最高となりました。NVIDIA のイニシアティブが大成功を収めつつあります。

NVIDIA RTX レイトレーシングはコンピューター グラフィックスを再定義するもので、ゲーミング、VR およびデザインのマーケットで採用が加速し、レンダリングおよびクラウド ゲーミングの世界で新たな機会を創出しています。NVIDIA AI は、言語理解、対話型 AI およびレコメンデーション エンジンといった、今日のインターネットを主導するコア アルゴリズムにブレイクスルーをもたらしています。また、5G、ゲノミクス、ロボティクスおよび自動運転車で使用されている、NVIDIA の新しいコンピューティング アプリケーションを通じて、私たちは大きな成果をもたらす重要な仕事を継続的に行っています。

NVIDIA は、現在のもっとも大きなテクノロジー トレンドの中心にいるのです」

NVIDIA は、2020 年 2 月 28 日を配当基準日として、2020 年 3 月 20 日に 1 株当たり 0.16 ドルの次回四半期現金配当を支払う予定です。

2020 年会計年度第 4 四半期の概要

四半期財務情報 (GAAP ベース) の比較					
(単位:百万ドル 1 株当たりのものを除く)	Q4 FY20	Q3 FY20	Q4 FY19	Q/Q	Y/Y
売上高	\$3,105	\$3,014	\$2,205	3% 増	41% 増
売上高総利益率	64.9%	63.6%	54.7%	130 bps 増	1,020 bps 増
営業費用	\$1,025	\$989	\$913	4% 増	12% 増
営業利益	\$990	\$927	\$294	7% 増	237% 増
純利益	\$950	\$899	\$567	6% 増	68% 増

希薄後 1 株当たりの利益	\$1.53	\$1.45	\$0.92	6% 増	66% 増
---------------	--------	--------	--------	------	-------

四半期財務情報 (非 GAAP ベース) の比較					
(単位:百万ドル 1 株当たりのものを除く)	Q4 FY20	Q3 FY20	Q4 FY19	Q/Q	Y/Y
売上高	\$3,105	\$3,014	\$2,205	3% 増	41% 増
売上高総利益率	65.4%	64.1%	56.0%	130 bps 増	940 bps 増
営業費用	\$810	\$774	\$755	5% 増	7% 増
営業利益	\$1,220	\$1,156	\$479	6% 増	155% 増
純利益	\$1,172	\$1,103	\$496	6% 増	136% 増
希薄後 1 株当たりの利益	\$1.89	\$1.78	\$0.80	6% 増	136% 増

2020 年会計年度の概要

財務情報 (GAAP ベース) の比較			
(単位:百万ドル 1 株当たりのものを除く)	FY20	FY19	Y/Y
売上高	\$10,918	\$11,716	7% 減
売上高総利益率	62.0%	61.2%	80 bps 増
営業費用	\$3,922	\$3,367	16% 増
営業利益	\$2,846	\$3,804	25% 減
純利益	\$2,796	\$4,141	32% 減
希薄後 1 株当たりの利益	\$4.52	\$6.63	32% 減

財務情報 (非 GAAP ベース) の比較			
(単位:百万ドル 1 株当たりのものを除く)	FY20	FY19	Y/Y
売上高	\$10,918	\$11,716	7% 減
売上高総利益率	62.5%	61.7%	80 bps 増
営業費用	\$3,086	\$2,826	9% 増
営業利益	\$3,735	\$4,407	15% 減
純利益	\$3,580	\$4,143	14% 減
希薄後 1 株当たりの利益	\$5.79	\$6.64	13% 減

2021 年会計年度第 1 四半期についての NVIDIA の予想には、承認待ちとなっている Mellanox Technologies, Ltd. の買収による影響は考慮されていません。中国の規制当局である国家市場監督管理総局との交渉は進展しており、NVIDIA では、この買収は 2020 暦年の早い時期に完了するものと考えています。

コロナウィルスの最終的な影響は予想が困難ですが、NVIDIA では、その潜在的な影響を考慮して、2021 年会計年度第 1 四半期の売上高予想を 1 億ドル減額しました。

- 売上高は、30 億ドル ±2% となる見込みです。
- 売上高総利益率は、GAAP ベースが 65.0% ± 0.5%、非 GAAP ベースが 65.4% ± 0.5% となる見込みです。
- 営業費用は、GAAP ベースが約 1 億 500 万ドル、非 GAAP ベースが約 8 億 3,500 万ドルとなる見込みです。
- GAAP ベースおよび非 GAAP ベースのその他の収益および費用は、約 2,500 万ドルの利益となる見込みです。
- GAAP 税率および非 GAAP 税率は、ともに 9% ± 1% となる見込みです (個別項目は除く)。GAAP ベースの個別項目は、四半期ベースで変動すると NVIDIA が予想する、株式報酬に関連した税制優遇措置の過不足を含みます。

ハイライト

2020 年会計年度第 3 四半期の終了以降、NVIDIA は以下のような領域で発展を遂げました。

ゲーミング:

- [「Deliver Us The Moon」](#)、[「Wolfenstein: Youngblood」](#)および[「Bright Memory」](#)といった、RTX 対応ゲームがリリースされ、レイトレーシングの勢いがさらに強まりました。
- [GeForce NOW™](#) クラウドゲーミングのベータテストが終了し、数億人の消費者が PC ゲーミングを楽しめるようになりました。プレイヤーは、デバイスに仮想の GeForce® グラフィックスカードを追加して、自身のゲームと無料のゲームの両方をプレイできます。
- ゲーミングノート PC のモデル数が、世界初の [14 インチ GeForce RTX™ ノート PC](#) である ASUS ROG Zephyrus G14 を含めて、新記録の 125 モデルとなりました。
- CES でも [G-SYNC® の勢いが継続](#)し、360Hz のリフレッシュレートを備えた、世界最速のモニターである ASUS ROG Swift 360 が発表されたほか、LG が同社の新しい OLED TV のラインアップを G-SYNC に対応にしました。

データセンターおよびエッジコンピューティング:

- スケーラブルで GPU で高速化する、[Microsoft Azure のクラウドで利用できるスーパーコンピューター](#)を初めて公開しました。このスーパーコンピューターでは最大 800 の [NVIDIA® V100 Tensor コア GPU](#) を利用できます。
- [世界でもっともパワフルな産業用スーパーコンピューター](#)の HPC5 に 7,280 基の NVIDIA V100 GPU が搭載され、イタリアのエネルギー企業の Eni が運営するという発表を行いました。
- NVIDIA AI で動作する [Alibaba と Baidu のレコメンデーションエンジン](#)で、推論が CPU を使用した場合より桁違いに向上したという発表を行いました。
- AWS と協力し、NVIDIA T4 Tensor コア GPU が [AWS Outposts で活用](#)できるようになり、Amazon EC2 G4 のインスタンスが顧客のデータセンターで利用できるようになりました。
- [GPU で高速化する Arm ベースサーバー向けの新しいリファレンスデザインプラットフォーム](#)で Arm、Ampere Computing、富士通および Marvell と連携し、さらに Red Hat とともに HPC アプリケーションの GPU アクセラレーションを Arm に対応させました。

- 推論ソフトウェア開発キット [NVIDIA TensorRT™ 7](#) を発表し、[より賢く、より高速な対話型 AI](#) への道筋を切り開きました。
- 患者のプライバシーを守り、同時にグローバル モデルの正確さを向上するリファレンス アプリケーション、[NVIDIA Clara™ Federated Learning](#) を公開しました。これはすでに、米国放射線学会および UCLA Health で使用されています。
- ストレージおよび入力/出力のボトルネックを解消するために最適化された、データ サイエンティストおよびハイ パフォーマンス コンピューティング研究者向けのソフトウェア スイート、[Magnum IO](#) を発表しました。
- ロボットの開発およびテストを加速する、統合型ロボット開発プラットフォーム、[NVIDIA Isaac™ ソフトウェア開発キットの新バージョン](#)をリリースしました。

プロフェッショナル ビジュアライゼーション:

- Acer の[新しいデスクトップおよびノート PC に RTX テクノロジーが採用され](#)、Adobe との協力により、RTX Studio の新規購入者に、Adobe Creative Cloud の 3 か月間無料メンバーシップを提供しました。
- 新しい [NVIDIA Quadro® ドライバ](#)、および [NVIDIA Studio ドライバ](#)をリリースし、[Autodesk の Maya 2020 に RTX 機能が実装](#)されました。さらに、この機能は、Dassault の Catia 2020 および Siemens Ray-Trace Studio にも採用されました。
- [RTX テクノロジー](#)が、[Chaos Group の V-Ray](#)、[Autodesk の Arnold](#) および [Blender の Cycles](#) でも利用できるようになり、デザイナーが複雑な 3D ビジュアル、正確なリフレクションなどを制作できるようになりました。

オートモーティブ:

- 前の世代の SoC のおよそ 7 倍となる 200 TOPS の演算能力を持つ、自動運転車向けの先進的なソフトウェア デファインド プラットフォーム、[DRIVE AGX Orin™](#) を発表しました。

NVIDIA CFO によるコメント

NVIDIA のエグゼクティブ バイス プレジデント兼最高財務責任者 (CFO) であるコレット クレス (Colette Kress) による本四半期に関するコメントを、<https://investor.nvidia.com/home/default.aspx> でご覧いただけます (英語)。

カンファレンス コールおよび Web キャスト情報

2020 年会計年度第 4 四半期および 2020 年会計年度の決算および現在の財務見通しについてのアナリストおよび投資家とのカンファレンス コールのライブ Web キャスト (視聴のみモード) は、NVIDIA のインベスター リレーションズ Web サイト、<https://investor.nvidia.com/home/default.aspx> でアクセス可能です。Web キャストは録音され、NVIDIA の 2021 年会計年度第 1 四半期についてのカンファレンス コールが開催されるまで再生できます。

非 GAAP 財務指標について

NVIDIA では、GAAP ベースの要約連結財務諸表に加え、一部の項目については非 GAAP ベースの財務指標を使用しています。使用している非 GAAP 財務指標は、非 GAAP ベースの売上高総利益、非 GAAP ベースの売上高総利益率、非 GAAP ベースの営業費用、非 GAAP ベースの営業利益、非 GAAP ベースのその他の利益、非 GAAP の支払法人税、非 GAAP ベースの純利益、非 GAAP ベースの希薄後 1 株当たり純利益あるいは利益、非 GAAP ベースの希薄後株式数、ならびにフリー キャッシュ フローです。また、現在と過去の財務指標が比較しやすいように、GAAP ベースの財務指標と非 GAAP ベースの財務指標がどのような関係にあるのかも明らかにしています。この情報を活用すれば、関連する GAAP 財務指標から、株式報酬費用、和解費用、買収関連およびその他の費用、関連会社以外への投資による損益、減債償却に関連する支払利息、これらの項目に関連して発生する税金の影響（該当する場合）を除外することができます。フリー キャッシュ フローは、営業活動の収益から不動産や設備、無形資産の購入費を差し引いた GAAP ベースのキャッシュ純額として算出されます。非 GAAP 財務指標の提示は、過去から続く財務状況の変遷を理解しやすくするものであると NVIDIA では考えています。なお、NVIDIA が提示している非 GAAP 財務指標はそれのみを独立して見るべきものでもなければ、GAAP ベースで用意された業績を代替するものでもありません。また、NVIDIA が提示する非 GAAP 財務指標は、他社が提示する非 GAAP 財務指標とは異なる可能性があります。

NVIDIA CORPORATION

要約連結損益計算書

(単位:百万ドル 1 株当たりのものを除く)

(未監査)

	3 か月累計		12 か月累計	
	2020 年 1 月 26 日まで	2019 年 1 月 27 日まで	2020 年 1 月 26 日まで	2019 年 1 月 27 日まで
売上高	\$ 3,105	\$ 2,205	\$ 10,918	\$ 11,716
売上原価	1,090	998	4,150	4,545
総利益	2,015	1,207	6,768	7,171
営業費用				
研究開発費	738	647	2,829	2,376
販売費・一般管理費	287	266	1,093	991
営業費用合計	1,025	913	3,922	3,367
営業利益	990	294	2,846	3,804
受取利息	41	42	178	136
支払利息	(12)	(14)	(52)	(58)
雑費用 (純額)	(3)	2	(2)	14
その他利益合計	26	30	124	92
法人税費用控除前利益	1,016	324	2,970	3,896
法人税費用 (収益)	66	(243)	174	(245)
純利益	\$ 950	\$ 567	\$ 2,796	\$ 4,141

1 株当たり純利益:

希薄化前	\$ 1.55	\$ 0.93	\$ 4.59	\$ 6.81
希薄化後	\$ 1.53	\$ 0.92	\$ 4.52	\$ 6.63

1 株当たりの計算に用いた加重平均株式数:

希薄化前	612	609	609	608
希薄化後	621	619	618	625

NVIDIA CORPORATION

要約連結貸借対照表

(単位:百万ドル)

(未監査)

2020年1月26日 2019年1月27日

資産

流動資産:

現金、現金同等物および市場性のある有価証券	\$ 10,897	\$ 7,422
売掛金勘定 (純額)	1,657	1,424
棚卸資産	979	1,575
前払費用およびその他の流動資産	157	136
流動資産合計	13,690	10,557

固定資産 (純額)	1,674	1,404
オペレーティング リース資産	618	-
のれん	618	618
無形固定資産 (純額)	49	45
繰延税金資産	548	560
その他の資産	118	108
資産合計	\$ 17,315	\$ 13,292

負債、転換社債転換債務および株主資本

流動負債:

買掛金勘定	\$ 687	\$ 511
未払およびその他の流動負債	1,097	818
流動負債合計	1,784	1,329

長期負債	1,991	1,988
長期オペレーティング リース負債	561	-
その他長期負債	775	633
負債合計	5,111	3,950

株主資本	12,204	9,342
------	--------	-------

負債、転換社債転換債務および株主資本合計

\$ 17,315

\$ 13,292

NVIDIA CORPORATION
要約連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万ドル)

(未監査)

	3 か月累計		12 か月累計	
	2020年1	2019年1	2020年1	2019年1
	月26日まで	月27日まで	月26日まで	月27日まで
営業活動によるキャッシュフロー:				
純利益	\$ 950	\$ 576	\$ 2,796	\$ 4,141
営業活動によるキャッシュフローへの調整:				
株式報酬費用	220	156	844	557
減価償却費及びその他の償却費	106	78	381	262
繰延税金	23	(345)	18	(315)
その他	-	(10)	5	(45)
営業資産および負債の変動:				
売掛金勘定	(202)	794	(233)	(149)
棚卸資産	66	(156)	597	(776)
前払費用その他の資産	22	13	77	(55)
買掛金勘定	104	(359)	194	(135)
未払およびその他の流動負債	157	109	54	256
その他長期負債	19	51	28	2
営業活動によるキャッシュフロー	1,465	898	4,761	3,743
投資活動によるキャッシュフロー:				
有価証券の償還による収入	-	964	4,744	7,232
有価証券の売却による収入	2	314	3,365	428
有価証券の取得	-	(1,036)	(1,461)	(11,148)
固定資産および無形資産の購入	(144)	(203)	(489)	(600)
投資その他 (純額)	(9)	-	(14)	(9)
投資活動によるキャッシュフロー	(151)	39	6,145	(4,097)
財務活動によるキャッシュフロー:				
普通株式の買い戻しに係る支払	-	(724)	-	(1,579)
転換社債の償還	-	(3)	-	(16)
配当金の支払額	(98)	(98)	(390)	(371)
従業員持ち株制度に係る収入	2	3	149	137
制限付き株式ユニットに対する税金に係る支払	(87)	(50)	(551)	(1,032)
その他	-	(4)	-	(5)

財務活動によるキャッシュ フロー	(183)	(876)	(792)	(2,866)
現金および現金同等物の変動	1,131	61	10,114	(3,220)
現金及び現金同等物の期首残高	9,765	721	782	4,002
現金及び現金同等物の期末残高	\$ 10,896	\$ 782	\$ 10,896	\$ 782

NVIDIA CORPORATION
GAAP ベースから非 GAAP ベースの財務情報の調整
(単位:百万ドル 1 株当たりのものを除く)

(未監査)

	3 か月累計			12 か月累計	
	2020 年 1 月 26 日まで	2019 年 10 月 27 日まで	2019 年 1 月 27 日まで	2020 年 1 月 26 日まで	2019 年 1 月 27 日まで
GAAP ベースの総利益	\$ 2,015	\$ 1,916	\$ 1,207	\$ 6,768	\$ 7,171
GAAP ベースの総利益率	64.9%	63.6%	54.7%	62.0%	61.2%
株式ベースの報酬費 (A)	12	15	6	39	27
和解費用	3	-	21	14	35
非 GAAP ベースの総利益	\$ 2,030	\$ 1,931	\$ 1,234	\$ 6,821	\$ 7,233
非 GAAP ベースの総利益率	65.4%	64.1%	56.0%	62.5%	61.7%
GAAP ベースの営業費用	\$ 1,025	\$ 989	\$ 913	\$ 3,922	\$ 3,367
株式ベースの報酬費(A)	(208)	(208)	(150)	(805)	(530)
買収関連およびその他の費用	(7)	(7)	(1)	(30)	(2)
和解費用	-	-	(7)	(1)	(9)
非 GAAP ベースの営業費用	\$ 810	\$ 774	\$ 755	\$ 3,086	\$ 2,826
GAAP ベースの営業利益	\$ 990	\$ 927	\$ 294	\$ 2,846	\$ 3,804
営業利益に対する非 GAAP 調整の影響額合計	230	229	185	889	603
非 GAAP ベースの営業利益	\$ 1,220	\$ 1,156	\$ 479	\$ 3,735	\$ 4,407
GAAP ベースのその他利益	\$ 26	\$ 32	\$ 30	\$ 124	\$ 92
関係会社以外への投資による損失 (利益)	-	-	(1)	1	(12)
減債償却に関連する支払利息	-	1	-	2	2
非 GAAP ベースのその他利益	\$ 26	\$ 33	\$ 29	\$ 127	\$ 82
GAAP ベースの純利益	\$ 950	\$ 899	\$ 567	\$ 2,796	\$ 4,141

非 GAAP 調整の税引前 合計影響額	230	230	184	890	593
非 GAAP 調整の法人税 に対する影響額 (B)	(8)	(26)	(25)	(106)	(223)
法人税の税制改革による 税効果	-	-	(230)	-	(368)
非 GAAP ベースの純利益	\$ 1,172	\$ 1,103	\$ 496	\$ 3,580	\$ 4,143
希薄化後 1 株当たり純利 益					
GAAP ベース	\$ 1.53	\$ 1.45	\$ 0.92	\$ 4.52	\$ 6.63
非 GAAP ベース	\$ 1.89	\$ 1.78	\$ 0.80	\$ 5.79	\$ 6.64
希薄後 1 株当たり純利益の 計算に用いた加重平均株式 数					
GAAP ベース	621	618	619	618	625
債券ヘッジによる反希薄化 効果	-	-	-	-	(1)
非 GAAP ベース	621	618	619	618	624
GAAP ベースの営業活動によ るキャッシュ純額	\$ 1,465	\$ 1,640	\$ 898	\$ 4,761	\$ 3,743
固定資産および無形資産 の購入	(144)	(104)	(203)	(489)	(600)
フリー キャッシュ フロー	\$ 1,321	\$ 1,536	\$ 695	\$ 4,272	\$ 3,143

(A) 株式ベースの報酬は以 下を含む:	3 か月累計			12 か月累計	
	2020 年 1 月 26 日まで	2019 年 10 月 27 日まで	2019 年 1 月 27 日まで	2020 年 1 月 26 日まで	2019 年 1 月 27 日まで
売上原価	\$ 12	\$ 15	\$ 6	\$ 39	\$ 27
研究開発費	\$ 140	\$ 141	\$ 99	\$ 540	\$ 336
販売費・一般管理費	\$ 68	\$ 67	\$ 51	\$ 265	\$ 194

(B) GAAP 会計基準 (ASU 2016-09) における株式報酬に関連した税制優遇措置の過不足を考慮した、非 GAAP 調整の法人税に対する影響額。

**第 1 四半期
見通し**

GAAP ベースの総利益率	65.0%
株式ベースの報酬の影響額	0.4%
非 GAAP ベースの総利益率	<u>65.4%</u>

**FY2021
第 1 四半期
見通し**

(単位:百万ドル)

GAAP ベースの営業費用	\$ 1,045
株式ベースの報酬費用、買収関連費、およびその他の費用	(210)
非 GAAP ベースの営業費用	<u>\$ 835</u>

NVIDIA について

1999 年における NVIDIA (NASDAQ 表示: NVDA)による GPU の発明は、PC ゲーミング市場の成長に爆発的な拍車をかけ、現代のコンピューター グラフィックスを再定義し、並列コンピューティングに革命的变化を起こしました。最近では、GPU ディープラーニングが最新の AI (次世代コンピューティング) に火をつけ、世界を知覚し理解することができるコンピューター、ロボット、自律走行車の脳として GPU は機能しています。詳細は、こちらのリンクから：www.nvidia.co.jp/

本件に関するお問い合わせ先:

エヌビディア 広報部
Japan-PR@nvidia.com

エヌビディア PR 事務局
担当：清水 Email アドレス：nvidia@jspin.co.jp
Tel：03-5269-1038 Fax：03-5269-1039

大きな成功を得るための NVIDIA のイニシアティブ、5G、ゲノミクス、ロボティクスおよび自動運転車における NVIDIA RTX レイトレーシング、NVIDIA AI および NVIDIA の新しいコンピューティング アプリケーションの効果、現在のもっとも大きなテクノロジートレンドにおける NVIDIA のポジショニング、NVIDIA の次の四半期の配当、中国の規制当局の承認プロセスの状況と Mellanox 買収の予想完了時期、コロナウィルスの最終的な影響、NVIDIA の 2021 年会計年度第 1 四半期についての財務予想、NVIDIA の 2021 年会計年度第 1 四半期の税率についての予想、超過税務便益額または申告不足税額によって生じる変動の予想、ならびに GeForce NOW、NVIDIA AI で動作している Alibaba および Baidu のレコメンデーション エンジン、NVIDIA TensorRT7、NVIDIA Clara Federated Learning、Magnum IO、NVIDIA Isaac ソフトウェア開発キットの新バージョン、RTX テクノロジーが Chaos Group の V-Ray、Autodesk の Arnold および Blender の Cycles でも利用できるようになってきていること、および DRIVE AGX Orin の便益と効果など、本プレスリリースにおける一定の記載は将来の見通しに関する記述であり、予測とは著しく異なる結果を生ずる可能性があるリスクと不確実性を伴っています。かかるリスクと不確実性は、世界的な経済環境、サードパーティに依存する製品の製造・組立・梱包・試験、技術開発および競合による影響、新しい製品やテクノロジーの開発あるいは既存の製品やテクノロジーの改良、NVIDIA 製品やパートナー企業の製品の市場への浸透、デザイン・製造あるいはソフトウ



エアの欠陥、ユーザーの嗜好および需要の変化、業界標準やインターフェイスの変更、システム統合時に NVIDIA 製品および技術の予期せぬパフォーマンスにより生じる損失などを含み、その他のリスクの詳細に関しては、Form 10-K での NVIDIA のアニュアル レポートならびに Form 10-Q での四半期レポートなど、米証券取引委員会 (SEC) に提出されている NVIDIA の報告書に適宜記載されます。SEC への提出書類は写しが NVIDIA の Web サイトに掲載されており、NVIDIA から無償で入手することができます。これらの将来予測的な記述は発表日時点の見解に基づくものであって将来的な業績を保証するものではなく、法律による定めがある場合を除き、今後発生する事態や環境の変化に応じてこれらの記述を更新する義務を NVIDIA は一切負いません。

© 2020 NVIDIA Corporation. All rights reserved. NVIDIA、NVIDIA のロゴ、GeForce、Quadro、DRIVE AGX Orin、GeForce NOW、GeForce RTX、G-SYNC、NVIDIA Clara、NVIDIA Isaac、NVIDIA RTX および TensorRT は、米国およびその他の国における NVIDIA Corporation の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有企業の商標または登録商標である可能性があります。機能、価格、可用性、および仕様は予告なしに変更されることがあります。